

栃木市監査委員告示第13号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

令和元年12月18日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 茂 呂 健 市

1. 監査の実施日 令和元年11月5日
令和元年11月6日
2. 監査の対象 栃木中央小学校 栃木第三小学校 大宮南小学校
大宮北小学校 千塚小学校
栃木東中学校 東陽中学校

3. 監査の方法

令和元年9月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

◎栃木中央小学校

栃木中央小学校は、学校教育目標を

「かしこく」「やさしく」「たくましく」「地域とともに」
としている。

目指す学校像を「学びあい ふれあい 支えあい」子どもも大人も夢を育む学校、山本有三先生の教えを日々実践する学校としている。

学校経営の基本方針として「ほめて伸ばす」「はじめに子どもありき」「凡事徹底」「組織で対応」の4つのキーワードをもとに取り組んでいる。

学校教育活動全体を通して「言語スキル・数量スキル・情報スキルなど学びの基礎となる力」「身に付けた知識や技能をもとに考えたり、他と関わりながらより良い考え方を見付けたり、相手や目的を意識して考えや気持ちを伝え合ったりする力」「自ら考え、他と力を合わせて協働的に課題を解決しようとする力」の3つの力を身に付けられるよう取り組んでいる。

当校は山本有三先生の母校であり、年に2回「山本有三週間」を設定し、集中的に本や作品を展示することにより、有三先生の考え方を踏襲し、その教えから得たものを将来に向けてどう生かしていくかについて考える教育に取り組んでいる。

また特別支援教育について、平成30年度から文部科学省の研究指定を受け、通常教室のなかに在籍している発達障害のある児童に対して、一人一人のニーズに応じた多面的な支援ができるよう研究を進めている。

学校管理費については、予算現額6,451,000円に対し、支出負担行為額3,255,863円で50.5%の執行率である。

その主なものは、事務用品、授業用品等の消耗品、燃料費、跳び箱、教卓、マットや児童用図書等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎栃木第三小学校

栃木第三小学校は、学校教育目標を、

「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」
「家庭・地域との連携」

としている。

学校経営目標は「すこやかな心身の育成」で、児童一人一人が輝

く学校づくりとしている。

本年度の学校課題研究のテーマを「学び合いを生かした確かな学力の育成～自分の考えを「書く」「話す」力を伸ばす指導の工夫～」として取り組んでいる。

主な活動として、栃木未来アシストネット事業では、読み聞かせや茶道教室など様々なボランティアに来ていただいているほか、学区内の例幣使街道を練り歩く「子ども例幣使行列」や、蔵の街大通りで実施している消防団分列行進で鼓笛隊が演奏するなど継続的に事業を実施しており、子どもたちが地域に出て活躍することを通して、地域と積極的な連携を図っている。

また、平成30年度には栃木県健康推進学校優良賞を受賞し、家庭・地域との連携を健康の面においても重視した取り組みを行っている。

学校管理費については、予算現額 5,092,000 円に対し、支出負担行為額 2,763,371 円で 54.3%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、燃料費、児童用机椅子や児童用図書等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎大宮南小学校

大宮南小学校は、学校教育目標を

「かんがえる子 おもいやる子 やりぬく子 たくましい子」としている。

目指す児童像は、「めあてに向かって進んで学習し、自分の考えがはっきり伝えられる子」「元気よくあいさつや返事をし、相手を思いやり、協力できる子」「めあてを持って根気強く取り組み、最後まであきらめずにがんばる子」「自他の態度や安全を考え、進んで体力・健康づくりができる子」とし、だれとでも進んでコミュニケーションを取り、自信をもって行動できる子の育成に努めている。

小規模特認校として7年目を迎え、今年度は全校生徒73名のうち31名が区域外からの児童であり、モデル的な学校になっている。

今まで高学年のみ参加していた市の音楽祭に今年から全校生徒で参加することにより、低学年のうちから子どもたちに大きな自信を持たせ、豊かな表現力、コミュニケーション力の育成を図っている。

同じく今年度から、児童や保護者からの希望を取った揃いのTシャツで一体感の醸成を図った運動会での全学年親子ダンスや、全保

護者を地域内各地区に割り振り、地域の方々と協力したりサイクル活動を実施するなど、これまで以上に学校と保護者、地域との良好な連携が図られている。

また、児童にはなるべく本物に触れさせることを特色のひとつとしており、英語や書写の講師を招いて学習指導の充実に取り組んでいる。

学校管理費については、予算現額 1,974,000 円に対し、支出負担行為額 1,052,724 円で 53.3%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、音楽科備品、児童用図書等備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎大宮北小学校

大宮北小学校は、学校教育目標を

「心の豊かな子（心づくり） 思いやりの心をもつ子」

「よく考える子（頭づくり） 進んで学習する子」

「たくましい子（体づくり） 粘り強くやりとげる子」

としている。

学校経営方針として、「教職員の資質向上に努め、指導力の向上を図る」「大規模校ならではの学校教育を推進する」「心の教育の充実を図る」「学校課題研究を国語科とし、児童の基礎・基本の定着と学力の向上を目指す」を主なものとして取り組んでいる。

とちぎ未来アシストネット事業では、1年間各教科でお世話になったボランティアティーチャーの方々や、日頃お世話になっている地域の方々を学校に招待して「感謝の会」を開催し、児童の感謝の気持ちを伝える行事や、大宮公民館で開催している「大宮地区まつり」において吹奏楽部が演奏を行うなど、継続的に地域との交流や連携に努めている。

また小中一貫教育の一環で、大宮南小学校の6年生が大宮北小学校と一緒に授業を受け給食を食べることで、小学校同士横の連携を図って中学校へスムーズに移行できるような取り組みを行っている。

学校管理費については、予算現額 6,921,000 円に対し、支出負担行為額 3,696,326 円で 53.4%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品費、燃料費、コピー機使用料、事務机、作品乾燥棚等の備品購入費である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は

概ね適正に処理されていた。

学校施設の管理及び備品の保管状況は概ね良好であった。

◎千塚小学校

千塚小学校は、学校教育目標を

「美しさの分かるやさしい子ども」

「よく考え勉強する子ども」

「健康でたくましい子ども」

としている。

目指す児童像は、

「挨拶、返事ができ、規律正しい子」「互いのよさや努力を認め合い、思いやりのある子」「人と積極的に関わり、考えを広めたり深めたりし、学び合いができる子」「めあてをもち、体力づくりや健康な生活に向けて、粘り強く努力できる子」としている。

今年度の重点的な取り組みとして、性的マイノリティーを踏まえた人権教育に力を注いでいる。

「ふるさとを忘れない、世界の中の日本人」を教育指標としており、地域との関わりの中から、ふるさとのよさを知り大切にしていこうとする態度や、毎年色々な国の方から話を聞くことによって諸外国の異文化や価値観を知り、広い視野をもってそれらを尊重し大切にしていこうとする態度を育てている。

また「子どもの読書活動実践校」で今年度文部科学大臣表彰を受けており、年間読書数2万冊を達成するなど子どもの読書活動について熱心に取り組んでいる。

学校管理費については、予算現額3,446,000円に対し、支出負担行為額1,811,102円で52.6%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、燃料費、プールコースロープ等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎栃木東中学校

栃木東中学校は、学校教育目標を

「よく考え、自ら学ぶ生徒」

「豊かな心と強い意志をもった生徒」

「健康で、自他の生命を大切にする生徒」

としている。

生徒の目指す姿を、山本有三先生の【竹の教え】（「竹」は土の下でしっかりと手をにぎり合っ、途中で曲がったりくねったりしないで、あのすらっと気品のある姿で、いちずに天を目指している）の理念を根幹に据え、

志高く一途に天を目指す生徒

- 1 問いをもち 共に学び 高め合う
- 2 互いに思いやり 心正しく行動する
- 3 心身を鍛え たくましく生きる
- 4 ふるさとへの理解を深め 参画する

とし、「東筍の心得」として取り組んでいる。

主な活動として、とちぎ未来アシストネット事業では、読み聞かせやミシンボランティア、琴の演奏など地域の方に来ていただく活動、とちぎ秋まつりや地域で行う防災訓練への参加など地域に還元していく活動を行っている。特に中学生としてできる地域活性化の事業として、蔵の街サマーフェスタへ出展し地域の方々との交流を図っている。その際の売上金については、最終的にふるさと文化振興基金に寄附をし、まちづくりに生かしてもらいたいという子どもの心を育てる活動を実施している。

学校管理費については、予算現額 3,986,000 円に対し、支出負担行為額 2,353,188 円で 59.0%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、燃料費、サッカーネットや生徒用図書等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は、概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎東陽中学校

東陽中学校は、学校教育目標を

「自主」「健康」「奉仕」

としている。

目指す学校像は「希望に満ち、一人一人が輝く学校」としており、生徒と教師が何事にも本気で取り組み、達成感を共有し、笑顔で語り合い「自分が好き、仲間が好き、東陽中が好き」といえる学校づくりに取り組んでいる。

目指す生徒像を

「当たり前前（の）のことが当たり前前（の）にできる生徒」（凡事徹底）

「小さな努力を積み重ねることが出来る生徒」（積小為大）

と掲げており、

本気で元気な笑顔あふれる「あいさつ」をする
本気で「授業」に真剣に取り組む
本気で「仲間」と一緒に活動する
の3点を軸に、学校経営に努めている。

平成29年度より3年間、市の指定を受け学力向上推進研究校として東陽中学校区の小学校と共に、小中一貫教育の組織を活用した授業研究の実施や、「学びに向かう集団づくり」と「意欲的に取り組む授業づくり」を意識した授業を展開し学力の向上を図っている。

学校管理費については、予算現額6,483,000円に対し、支出負担行為額4,201,330円で64.8%の執行率である。

その主なものは、事務用消耗品、コピー機使用料、生徒用机椅子等の備品購入費、学校行事用消耗品である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

監査対象校でのアレルギー対応については、各学校とも市のアレルギー対応マニュアルに沿った形で対応していた。

なお、エピペン対象の児童・生徒が在籍する学校と、しない学校があったが、在籍する学校のエピペンの管理は徹底されていた。